

予 防 接 種 を 受 け る 前 に



一般的注意

- * インフルエンザの予防接種について、この用紙をよく読んで、必要性や副反応についてよく理解しましょう。
- * 気にかかる事やわからない事があれば、予防接種を受ける前に担当の医師や看護師、または市町村の担当者などに質問しましょう。
- * 説明を受け、十分に納得したうえで、予防接種を受けましょう。

予防接種をうけることの出来ない人

明らかに発熱のある人（体温が37.5度以上の場合はできません）

重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人

インフルエンザワクチンに含まれる成分、または卵等によって『アナフィラキシーショック』を起こしたことがある人

〔アナフィラキシーショックとは、通常接種後30分以内に起こるひどいアレルギー反応のことです。発汗、顔が急にはれる、全身にじんましんが出る、吐き気、嘔吐、声が出にくい、息苦しいなどの症状に続き、血圧が下がっていく激しい全身反応です〕

前にインフルエンザの予防接種を受けたとき、2日以内に発熱、発疹（ほっしん）、じんましんなどアレルギーを思わす異常が見られた人

今までに中耳炎や肺炎などによくかかり、免疫状態を検査して異常を指摘されたことのある人
その他、医師が不適當な状態と判断した場合

予防接種を受けるときに担当医とよく相談しなければならない人

心臓病、腎臓病、肝臓病や血液、その他慢性の病気で治療を受けている人

今までにひきつけを起こしたことがある人

インフルエンザワクチンの成分、または鶏卵、鶏肉、その他鶏由来のものに対して、アレルギーがあるといわれた人

予防接種を受けた後の一般的注意事項

接種後24時間は副反応の出現に注意しましょう。特に30分以内は健康状態が急激に変化することがありますので、医師（医療機関）とすぐに連絡のとれるようにしておきましょう。

接種当日の入浴は、差し支えありませんが、過激な運動や飲酒は、接種後24時間以内はさけましょう。

- * 接種後に気分不良などで医師の診察を受けた場合には、各市町村へご連絡ください。